

令和元年8月1日(木)14:20~16:00 あざれあ 大ホール

「笑って話そう！男女共同参画について」
～男の家事が社会を救う！～

講師：東京大学大学院教授 瀬地山 角 氏

【講師紹介】



10年間2人の子供の保育園の送迎を一手に担い、今でも毎日の夕食作りを担当するジェンダー論の研究者。子連れで渡米し、父子家庭も経験した。日本テレビ「世界一受けたい授業」の東大生100人へのアンケートで、東大の人気講義No.1に選ばれたジェンダー論の講義は、毎年500人以上で立ち見が出る。NPO法人の理事として保育所の運営にも参加。抱腹絶倒の講演で日本全国を行脚中。著書「お笑いジェンダー論」、「東アジアの家父長制」等

【講演概要】

瀬地山先生の講演は、「赤ちゃん連れ大歓迎！！」ということで、会場では子どもの声が聞こえるとともに、先生の絶妙なトークにより笑声が絶えず、とても和やかな雰囲気で行われました。また、先生の話は、笑いの中に男女共同参画に関する様々な問題提起やメッセージがあり、来場者それぞれが自身の生活について考えさせられる時間になりました。

《男性はどんな家事育児でもできる》

男性はどんな家事育児でもできる。「男性、女性はこうしなければならない」と考えられているものの大半は生まれながら性別学的に決まっているものではなく、社会が生み出したもの。そうであるならば話し合いの中で決めていけるもの。

私は週末に子連れで講演に行っていた。地方での講演の場合、子どもははぐれないように必死についてくる。父と子しかいないときに、「ママがいい」とは言えない。日本の家庭はママという時間が長すぎる。「ママがいい」というのはママという時間が長すぎるというサイン。

《家事関連時間の男女差は社会的問題》

共働き世帯の男性の家事関連時間が週平均1日46分なのに対して、女性は4時間54分。この家事関連時間の男女差は、個々の家庭の問題を超えて「社会的な問題」とするべき。その理由を『子育て』を『植林』に置き換えて説明する。

植林をしない林業者と植林する林業者がいた場合、必ず植林をしない林業者が勝つ。植林をしている間に木を切ることができるので、一本当たりの値段を安くできるからだ。植林をしない林業者の木ばかりが売れて、やがて植林をする林業者が倒産し、その山林は植林をしない林業者の手にわたり、日本中の山林は30年くらいではげ山にされていく。

『植林』にコストがかかるのと同様に、働きながら『子育て』をする人には、「子どもの病気により突然休暇をとらなくてはならない」等の子育てのコストがあり、家事関連時間が女性に

大きく偏っている日本では、女性が植林をする林業者の木、男性が植林をしない林業者の木になっている。植林という子育てのコストが女性に大きく偏ってしまっている。企業は労働者を雇用するとき、短期的合理性の判断から植林をしない林業者の木を買う、つまり子育てをしない男性を採用する。それは、正当に子育てのコストが還元されないまま人が働くこととなり、小さなところで短期的に行うのはいいかもしれないが、長期的に全国で行われると、『植林』の例と同様に日本中がはげ山になってしまう。これが少子化と呼ばれている現象である。つまり今の日本社会は普通に子育てや介護をしながら働くことができないような社会になってしまっている。

なぜならば男性があたかも子育て等が存在しないかのように働いてしまうからで、女性が時短をとって調節する問題ではなく、男性のワーク・ライフ・バランスが大切である。

《女性の就労が男性の命を救っている》

男性の自殺者数は女性の約2倍であり、7対3で男性が多い。特に中高年の男性が経済的な悩み理由に亡くなっているケースが多い。

大黒柱が屋根の重みに耐えかねてつぶれている。大黒柱の時代ではない。細い柱2本で屋根を支える。それで子どもを守る。

自殺者数を抑えることができれば、男性の平均余命は一気に上がる。

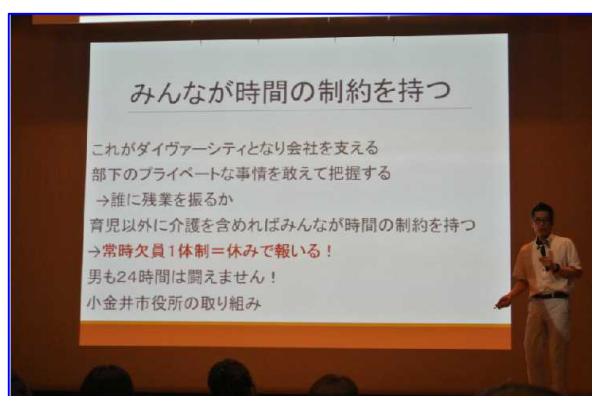
男性の家事が女性の就労を支えている。女性の就労が男性の命を救っている。真ん中をとってしまえば、男性の家事は、自分の命を救う。

男性の育児家事は労災を防止する機能もついている。週1日でもいいのでお父さんが保育園等のお迎えの日をつくる。できれば水曜日。お迎えに行く時間に帰れば過労死はしない。

《男女共同参画とは悩みを共有すること》

男性は女性から「リードしてほしい」、「話を聞いてほしい」と言われるが、「引っ張ること」と「話を聞く」ということは逆のこと。1人の人間に求めるのは複雑すぎる。

一緒に悩んで結論をだすことに逃げないでほしい。『対等になる』、『平等になる』というのはそういうこと。



瀬地山先生の話の中には、その他にも「子育て世代に必ず1億円のジャンボ宝くじがあたる秘訣」、「会社のエースをつぶしてはならない」、「今結婚相手の求められるのは学歴よりも家事能力」、「CM等に潜む固定的性別役割分担意識」等、様々な観点から男女共同参画に係わるお話をしていただきました。